

# 「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山4・44・23（八四四一七四七七）  
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山4・7・1

## ボナーージュ横浜（URシニア賃貸住宅）と、

### ゆうらいふ横浜（介護付き有料老人ホーム）見学記

横浜市営地下鉄「仲町台」駅前から徒歩約5分の所には、UR都市機構（旧住宅公団および旧住宅金融公庫）が建設したプロムナード仲町台という、賃貸住宅、分譲住宅が建ち並ぶ大きな団地があり、周辺には緑あふれる公園もあります。その中央付近のコミュニティ広場に面した場所に、表記二つの施設（平成七年完成）がありました。先般見学しましたので、ご報告いたします。

#### 『ボナーージュ横浜』

14階建ての6号棟（一〇八戸）、13階建ての7号棟（六二戸）の2棟です。ここは、自立した日常生活を送れる人（満60歳以上満85歳以下）の「生活の場」であり、住宅なので、入居の際の健康に関する条件が厳しく、既往症（脳血管関係の病気、インシュリンの必要な糖尿病、各種ガンの寛解後五年未満、難病など）のある人は入居できないし、入居時の健康診断によっても入居不可の場合が出るそうです。

◎まず保険加入が必要……この施設は、生命保険会社の「終身年金保険」から支払われる

年金（約十二万円）で家賃等を支払うタイプの賃貸住宅なので、まず終身年金保険に加入する必要があります。その後、UR都市機構との「賃貸借契約」と、ボナーージュ横浜を管理運営する（財）高齢者住宅財団と「運営基本契約」を結びます。

◎要介護時への備え……隣接した「ゆうらいふ横浜」は、建物を借りて三井住友海上ケアネット（株）が経営する介護付き有料老人ホームで、ボナーージュ横浜とは提携関係です。

ボナーージュ横浜入居時に、将来ゆうらいふ横浜に移り住む「予約入居契約」（年齢別・性別によって定められた予約金を前納する必要あり）をするのか、または賃貸住宅で、外部の各種介護サービスを利用して最後まで過ごすための「介護費用保険」に加入するかを、選択します。予約入居契約ができれば、要介護4以上になれば一時金はなく移住できますが、「介護費用保険」を選択していた場合は、ゆうらいふ横浜に移住を希望すると、高額の入居一時金が必要になります。

◎居室の広さと設備……共用廊下側が入口

で、縦長の居室の突き当たりにはバルコニーがありました。居室の広さは、1DK（37㎡）1LDK（56、57㎡）、2DK（56、74㎡）です。居室内は入口からすべて段差なし。大部分の部屋に和室または畳コーナーがありました。洋室やDK、DLK部分には、温水式の床暖房、また各戸に移動式の暖房放熱器1台が設置（冷房設備は自前設置）。台所の熱源はガステーブル。床暖房と浴室、洗面所等に給湯するガス給湯器が各戸に設置されています。

◎緊急通報システム……緊急通報ボタンが浴室・トイレにありますし、一定時間トイレ使用がないと生活リズムセンサーが感知してセンターに通報。（以下裏面に続く）

#### 嬉しいお知らせ

大橋綾子様が、第29回港南区社会福祉大会で「港南区社会福祉協議会会長賞」を受賞されました。おめでとうございます。

受賞の理由は、当会の総会やイベントはじめいぶき会やお茶飲み会、ひまわりの集い、連合自治会賀詞交換会などに、いつも花材持込みで生けてくださった活動が高く評価されたもの。二月六日に、ウィリング横浜で開かれた大会・授賞式には、宮崎理事長と一柳副理事長も出席しました。

(↓一面からの続き) 外出時には、玄関外からの施錠で、センサーは停止するシステムです。スプリンクラーが各戸にありました。

◎共用施設……ラウンジ、図書コーナー、会議室、多目的室、和室集会室、プレイルーム、トランクルーム(各戸に一カ所確保)の他に、美容室と診療所があり、ゲストルームも3室(有料)ありました。レストランは、隣接のゆうらいふ横浜にあります。朝食以外は1週間前に利用予約が必要です。

◎費用……部屋の広さと入居時の性別・年齢によって金額が変わります。一例として、75歳の女性が2DK(47㎡)に1人入居の場合を次にあげてみます。

- 入居一時金額を少なくして月払い可) 提携介護施設コース……四、八七〇万円
- 介護費用保険コース……四、六一〇万円
- 入居後の月払い額……一時金を全額一時払いにすると無料ですが、一時金の一部を月払いにすると約四万三千〜十一万六千円かかります。

(詳細は、日限山荘に保管の資料参照)

## 『ゆうらいふ横浜』

ここは有料老人ホームで、現在百十一名の入居者中、ボナージュからの移り住みは約一〇%ということです。

- ◎居室の広さと設備……全室個室の居室は、5、6階は軽度介護居室で、夫婦用が七室(45㎡)、単身用十七室(22・5㎡)、2〜4階は

重度介護居室百一室(15・4〜25・4㎡)で、2階は、認知症の方専用スペースでした。重度介護居室の設備は、車椅子でも入れるトイレ、洗面台、洋服棚、チェスト、TV、電動ベッドとサイドテーブルなどが完備。軽度介護居室には、その上冷蔵庫とサイドボードが加わり、夫婦用軽度介護室には、バスルームやソファア、ミニキッチンと食器棚がありました。いずれの居室も、ケアステーション直結のヘルパーコールがベッド脇とトイレにあります。

◎共用施設……各階毎にケアステーションとダイニング・ダイニングルームがあり、広い桜風呂が設備され、週3回入浴ができます。

◎介護・生活支援サービス……要介護者一人以上に対して一人以上の介護体制をとっており、一人ひとりのケアプランに合わせた介護や生活の支援をしているそうです。また、看護師1名は24時間常駐です。年間26名中、24名は施設内で看取りを行ったそうです。

◎健康管理サービス……ボナージュ横浜一階の診療所(医師2名)と提携。年二回の健康診断、健康管理室では週6日健康相談が出来ますし、随時往診(緊急時は夜間も可)を行います。入院手配等を行う。また、機能訓練室があり、理学療法士がリハビリサービスをします。

- ◎費用
- 入居一時金
- 重度介護居室……二千六百万円
- 軽度介護居室……二千九百五十万円

夫婦用軽度介護居室……五千万円  
○毎月支払額(管理費、食費、保険外介護費) 重度、軽度とも、約二十万円必要です。夫婦では、約五十万円ほど必要です。

◎見学の感想……ボナージュ横浜(シニア賃貸住宅)は、収納場所が多く確保されていて、さすがという感じを持ちました。また、ゆうらいふ横浜(有料老人ホーム)は、明るい雰囲気が入りましたが、この両施設の入居には、多額の一時金と月々の支払いが必要であり、高嶺の花という感を強くしました。

### 介護保険サービスを利用したいのですが 番外編

福祉有償移動サービスという言葉をご存じですか。これは法の許可を受けたNPO法人、公益法人、社会福祉法人などが、高齢者や障害者など公共交通機関を利用して移動することが困難な人(ただし会員に限りま)を対象に通院などを目的に有償(タクシーの概ね二分の一の費用+介護費)で行う送迎サービス等をいいます。

NPO総ぐるみ福祉の会は、この制度が生まれた平成十九年度に許可を取得し、現在専用の福祉自動車二輛のほか持込車六輛を活用しています。いずれも車両の横に会の名前と有償福祉車両・関神福第51号と書かれたステッカーを貼っていますので、ご覧になった方もいると思います。ちなみに最近の実績では月の移送回数は二〇〇回を超え、利用者数も五〇人以上となっています。(一柳朗)

当会では、有料老人ホーム等の資料パンフの貸し出しをしておりますので、ご希望の方はお申し出ください。